

わかりにくい道案内

リースル・カールシュタット すみません、駅への一番早い行き方を教えて下さい。

カール・ファレンティン かなり遠いですよ。車で行くか歩いて行くかですな。車でなら十五分で着くでしょう。でも歩きならずっと長くかかります。

LK それで、歩きなら、どう行けばいいんでしょう？

KV 三つの行き方があります。まっすぐ行って大きな広場を越えて行くか、あるいは、市立公園を抜けてホテルのそばを通るか、あるいは、これが一番近いんだが、アーケード商店街を抜け、デパートと屋根つき市場の間を通るか、ですな。そうすれば、駅前に出ます。

LK はあ。でも私、もう時間がありませんの。十五時二十分に列車が出るんです。今、もう十五時十分ですわ。

KV それなら、兵舎通りに沿って歩いて、ガソリンスタンドのそばを行った方が利口ですな。そこで、もう一度尋ねたらよろしい。

LK そうですか、もう一度尋ねなければならいんですか。市電は通っていないんですの？

KV 市電はすし詰めですてね、なかなか乗り込めません。まず長いこと待たなければならいし、やっと来たと思ったら、満員でわけ。

LK それじゃ、仕方ありませんわね。それにもう時間がない。ああ、あなたのおっしゃることがもつとわかりやすかったです。

KV もつと大きな声で話しましょうか？

LK いいえ、それは結構よ。

KV もつと小さく？

LK いいえ。もつとはつきりしゃべっていただけないかしら。

KV もつとはつきりってというのは無理ですな。

LK 言語的な欠陥がありますの？

KV そんなもん、ないですよ。

LK いつもこんなにもくもお話になるんですか？

KV いいや、道で何か聞かれた時だけです。

L K 話すときにもっとお口を開けるだけでいいんですよ。

K V それができないんです。

L K どうして？

K V 歯医者に行かねばならんからです。

L K 歯医者さんでも、口を大きく開けなければならぬでしょうに。

K V それは問題ないんです。実はきょう、金の詰め物がゆるんできたものだから、口を開けると落とすんじゃないかと心配なんです。だから用心して、

口を開けないようにしてるんです。

L K よりによつてそついう方に私は道を尋ねたのね。

K V 私の方は構いませんよ。

L K そつちは構わなくても、こつちは構うのよ。

K V どうして？

L K おかげで列車に乗り遅れてしまったの！